

お米作り × スポーツ

3 月 田おこし大会や豊作祈願祭

○通常田おこしは3回必要で1回目は15 cmほど2~3回目は2~3 cm掘る必要がある。

そこで

- 1 回目の田おこしはイベントを開催する。『豊作祈願祭』
 - ・ 地域の人を集めて、みんなでクワを使って田おこしする。
 - ・ その後祭事として豊作を祈り、みんなで踊ったりヨガや体操したりする。
- 2 回目以降は、子供の遊び場として開放。土遊びの機会を増やせる。
 - ・ その姿を大人や高齢者が見て、支える意識を持つことができる。
 - ・ 毎週田んぼで、30分~1時間のヨガや体操教室を開く。

4 月 水田の中でドッチボールや鬼ごっこをしよう！！

○田植えを行う前の田んぼはとっても踏み心地がいい上に転んでも地面が柔らかいから怪我しにくい。

週末に大人の秘密のスポーツ大会と称し、背徳感を味わいながら、
子どものように泥の中でドッチボールや鬼ごっこを行うイベントを行う。

5 月 田植え競争、優勝者には、新米交換券！！

田植えをリレー形式で行う。綺麗さと速さを競う。優勝者は新米交換券GET

6~9 月 雑草抜き、ゴミ拾いハイキングイベントを毎週行う。

参加者には新米の割引券、スタンプ貯めたら交換券GET

10月 稲刈りイベント

地域の方々に食育の一環として宣伝。稲刈りを行いながらコミュニケーションをとる。
豊作フェスタで、田んぼの周りマラソン大会を行う。景品はお米！！

11~3月 スポーツをしてもいい場所として開放。

1年を通して、田んぼを有効活用しつつ、身体を動かす機会を増やす。初めは抵抗感があると考えているが、怪我なく、近所で、少し憧れのある泥の中で、思いのまま動くことができるため、フットサルに参加できると思う。
また、農作業と掛け合わせることで食育にもなり、農業に興味を持つ人を増やし、運動不足解消だけではなく後継者問題にもアプローチできるのではないかと考える。